

災害時のペット同行避難に関連する協定の締結について

経 過

- **1995年・阪神大震災** ペット連れの飼い主が避難所入所を断られるケースが相次ぐ
- **2011年・東日本大震災** ペットのために避難を躊躇したり、避難後に自宅に残したペットが心配で自宅に戻り津波被害に遭う事例が発生
- **2016年・熊本地震** ペット等の問題で車中泊した避難者において、エコノミー症候群による震災関連死が発生

国はペット同行避難を推奨

市内の小中高大学48か所の指定避難所においては、原則、ペット同行避難を推奨

- 2016年 避難所運営マニュアルにおいて、屋外へのペット飼育スペース確保を記載
- 2020年 マニュアルを改正し、ペット対応のページを追加
- 2022年 岩倉前市長の公約として、ペット同行避難を位置付け

対応強化を検討

災害時のペット同行避難に関連する協定 (令和7年4月1日締結)

(1)「災害時におけるペット同行避難所としての施設利用に関する協定」

一般社団法人苫小牧地域職業訓練センター運営協会 理事長 山崎啓二

- ✓ 災害発生時の2次避難所として同センター施設の一部を提供
- ✓ ペットの避難所として実習棟(夢創館)、飼い主の避難所として本館及び技能研修棟の一部を活用
- ✓ 施設住所: 苫小牧市新開町4丁目6番12号

(2)「災害時におけるペット同行避難所の運営に関する協定」

ライラのしっぽ 代表 吉成しおり

- ✓ ペット同行避難所開設時の避難所運営に協力
- ✓ ペットの飼育や管理、災害時の備えなどについて啓発活動を実施
- ✓ 代表は、愛玩動物看護師や災害支援動物危機管理士の資格を有し、愛玩動物看護師専門学校の非常勤講師

(3)「災害時における動物救護活動に関する協定」

苫小牧獣医師会 会長 前田浩人

- ✓ 避難所におけるペットの応急救護を実施
- ✓ 会長は、平成12年の有珠山噴火の際に、伊達市や洞爺湖村(当時)への応援派遣を経験